

4 文法1 — ～一年の復習

組	
番号	
氏名	

1 次の文の傍線部に「努力してきた」とあります、「努力して」と「きた」とはどのような関係になっていますか。最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

人間は、太古の昔から、太陽や月や、星の運行にあこがれ、興味をもち、眺めてきた。近代になつてからは、科学の進歩とともに、太古の人間がたどり着けなかつた真理へと近づくために、いつそう努力してきた。

- ア 主語・述語の関係 イ 修飾・被修飾の関係
ウ 並立の関係 エ 補助の関係
- 〔 〕

2 ア～エの傍線部のうち、次の文の傍線部「楽しく元気に」と文節どうしの関係が同じものはどれですか。ア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

先生、お元気ですか。わたしはこの三月に高校を卒業し、愛知県の大学に入学しました。わたしは大学でもバスケットボール部に入りました。わたしは小学校の時からスポーツ少年団でバスケットボールをしていたので、迷わず入部しました。練習はけつして楽ではありませんが、楽しく元気に活動しています……。

- ア 青い海が見える。
ウ 私は犬と猫を飼っている。 イ 公園のプールで友達が泳ぐ。
エ 明日は遠足なのでうれしい。
- 〔 〕

3 次の文の傍線部に「いまも」とあります、この言葉はどこに係つていますか。あとア～エの中から選び、記号で答えなさい。

いまも父たちは、農業にさまざまな工夫や新たな試みがあることなどをさりげなく、しかも大いに楽しんでいます。

- ア 父たちは イ 工夫や新たな試みがある
ウ さりげなく エ 楽しんでいます
- 〔 〕

4 次の①～③の各文の傍線部の「さつ」「き」「はじけ」をそれぞれ終止形（言い切りのかたち）に直して書きなさい。

① 彼らは試合に負けたあと、涙を流しながら球場をさつていった。
② ひとりわ高い歓声が耳に飛び込んできて、はつと我に返った。
③ 種子の中には、自然にはじけてちつてしまふものもある。

- ① 「 」 ② 「 」 ③ 「 」

5 次の文章の中で、傍線のついた語句の中で文法上他と異なるものを一つ選び、その記号を書きなさい。

合同文化祭が **a** にぎやかに開催されたが、出身校の小学生の伝統芸能が **b** 特に見事だった。私たちは、**c** 静かに鑑賞しながらも、私たちの代よりも少ない人数ながら **d** みごとに演じた後輩たちを、誇りに思った。

6 傍線部「大きな」とありますか、「この「な」と同じ意味・用法のものをあとの中から選び、記号で答えなさい。

人間の歳の数え方には、「満」と「かぞえ」とがあります。例えば中学校二年生の君たちで言えば、満で十四歳、かぞえて十五歳ということになります。これは、おぎやあと生まれた時から歳を数えたものを「満」、お母さんとの、お腹の中で生きてきた一年を加えたものを「かぞえ」というのです。ですから、君たちには、君たちの命を大切に守っていく、大きな責任があります。

ア まるで夢のような出来事だった。
イ 君たちの未来にはいろんな選択肢がある。
ウ ここは海の近くのたいへん静かな町だ。
エ 「道路に飛び出すな。」と注意した。

「 」

7 次の文の傍線部「ようだ」と同じはたらきをしているものを、後のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

人間には、人それぞれの固有な行動パターンがあるようだ。
ア 彼女は、明るく朗らかで、まるで太陽のようだ。
イ 私は、彼のような感動を与える選手になりたい。
ウ 犬が騒いでいる、明日は雪が降るようである。
エ 私たちの植えた花が、きっと咲きますように…。

「 」

8 次の文中の傍線部「より」と同じはたらきで用いられている「より」を含む文を、後のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

今年の夏より去年の夏の方が、暑かったような気がする。

ア 母の日に、子どもたちは、腕によりをかけて料理を作った。
イ 今年の太平洋高気圧は、例年に比べて東よりに位置している。
ウ 「疲れた。」そういふと、団炉裏のそばの柱によりかかった。
エ 実際に試してみたが、思ったより簡単に使うことができた。

「 」